

## 目標達成計画

作成日：平成24年 3月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	・権利擁護に関する制度の理解と活用について、事業所内においては勉強会などで理解を深めているが、利用者の家族などへ情報の発信を行っていない。	権利擁護に関する制度や成年後見制度について地域の皆さんの理解を深めていただく。	家族会などで成年後見制度などへの理解を深めていただけるように、地域の皆さんへ情報提供を行なう。	6ヶ月
2	37	・災害対策 緊急避難訓練に関して、事業所のみでの実施ではなく、地域住民が参加しての協力訓練を実施する必要がある。	地域住民の方々に参加してもらえる避難訓練を実施する	運営推進会議を通じ近隣の区役の方々に対して災害発生時の避難経路及び、非難後の見守りの必要性についての説明会を開催後地域協力型避難訓練を実施する。	6ヶ月
3	54	・居心地のよい共有空間づくり	節電効果のみを考えず、入居されている高齢者の視野を考えると、薄暗いと感じたら廊下の照明を点け安全を確保する。	施設内の照明は、昼間でも曇天などの時には安全面も考え点灯する。	3ヶ月
4	62	・利用者の希望に基づく戸外の外出は、利用者の1/3くらいしか実行できていない。	入居者の2/3以上の方に対し、希望に基づき外出が出来るようにする。	職員体制を強化し、余裕を持って業務計画をたてることにより、入居者の外出に必要な時間を、あいた時間に当ててではなく、計画的に外出できる時間をつくり実行していく。	6ヶ月
5	66	・利用者の1/3くらいしか通いの場やグループホームに馴染みの人や地域に人々が訪ねてきていない。	入居者の数日に1回は友人知人が施設に来ていただけるようにする。	併設の通所介護施設との連携を取り、入居者の友人知人に声かけを行い、来所してもらえるようにしていく。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

注) 完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。